

若者支援 24時間相談窓口

引きこもりやニートなど、困難を抱える若者を支援する全国初の24時間無料相談窓口と緊急避難シェルターが、21日から横浜磯子区東町9に開設される。民間の若者支援企業「K2インターナショナルジャパン」(K2)が運営し、横浜市が補助する。

対象は40歳ぐらいまでの人とその家族で、相談窓口の名称は「にこまる24h」。K2が運営する、2500円(非会員は3000円)でランチが食べられる食堂「にこまる食堂」本店と写真の一角に個別相談の窓口を設置し、K2のスタッフが3人態

勢の交代勤務で24時間対応に当たる。また、家庭や地域に居場所のなくなった若者が緊急に避難するためのシェルターは、同市中区のマンション2室に開設し、男女4人ずつが宿泊できる。窓口の活動と連動させることで、困難を抱える若者の課題に対応する。

「にこまる24h」は当面、来所による相談のみ。電話やFAXによる相談も、今後導入する方針という。運営費用は国の個別相談支援制度「パーソナル・サポート・サービス」から支給される事業費を充て、横浜市が

引きこもり、ニートに対応



今年度と新年度合計で、約8800万円を補助する。

K2によると、職に就けない若者の中には、昼間の外出で人に会いたくないという思いから、引きこもって昼夜逆転の生活を送る人が少なくない。誰に

も相談できず、真夜中にネットやゲームに過度に依存したり、孤独感や不安から自傷行為、さらには自殺を試みたりすることもあるという。

K2のプロジェクトリーダー、岩本真実さんによると、ニートや引きこもりを経験したスタッフから、夜間に相談できる場所の必要性が指摘され、企画につながったという。岩本さんは「夜間に相談に乗ってもらえる場所があるということが、安心感にもつながる」と話している。